

ジオサイトとは？

地質、地形、歴史など、そのジオパークを特色付ける見学場所や拠点となる博物館などの施設があるエリアのことです。

※現在ゆざわジオパークでは地質や地形、生物、歴史・文化の見どころ(サイト)の整理を進めています。



9 小安峡大噴湯

マップ
C-2

小安峡大噴湯では、川底の三途川層の隙間や割れ目から、高温の蒸気と温泉がごう音と共に噴き出ています。高低差60mの断崖絶壁の岩の割れ目からごう音と共に白煙が上がる様子は迫力があります。



10 貝沼

マップ
B-2

貝沼は、火山活動に伴って出来た斜面が地すべりをおこし形成された沼です。コイ、ヘラブナ、ワカサギなどが生息しており、シーズン中は多くの釣り人で賑わいます。周囲には散策路が整備され、美しい景観を楽しむことができます。



11 稲庭城

マップ
B-2

稲庭城は皆瀬川東側の、標高約350mの山の頂上に建っている観光施設です。稲川地域の歴史と文化、中世に雄勝郡を治めていた小野寺氏ゆかりの品々が展示されています。



12 大滝沢天然ブナ林

マップ
B-1

黒沢川上流に広がる天然ブナ林です。昔から水を蓄える森として大切に守られており、林野庁の水源地の森百選に選定されています。450種以上の植物が存在するなど、生態系豊かな森です。



要ガイド

13 岩崎の鹿島様

マップ
B-1

鹿島様は、武神を象徴したワラで作られた人形で、東北地方の村落に多く祀られています。岩崎地区には数百年前から伝えられており、高さ4mと巨大です。鹿島様は、日本の稲作農業がもたらした民俗文化の芸術です。



14 白山神社

マップ
A-1

白山神社は、白山の頂上にあり、坂上田村麻呂が建立したという伝説が残されています。平安期の作とされる女神像が祀られ、御開帳は8月です。神社の参道沿いには、10を超える小社殿や江戸期の石像が安置されています。



15 三関扇状地

マップ
B-2

三関扇状地は、豊かなミネラル分を含んだ湧水、西日の恵み、花こう岩や火山岩起源のよく風化した土という良好な条件のもと、良質なさくらんぼやセリを育てます。



16 カ水

マップ
B-1

カ水は「日本名水百選」の一つに選ばれた湧水で、水質はpH7.4の中性で、水温は約12℃と年中一定です。湯沢城主が「飲むと力が湧く」と愛用したことから、いつしかカ水と呼ばれるようになりました。

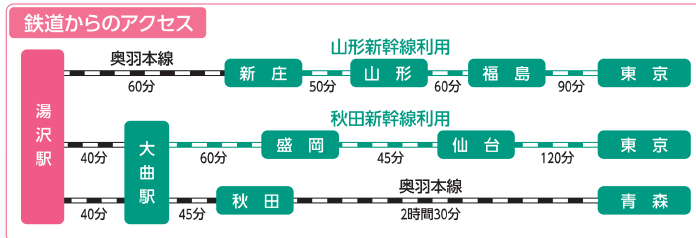
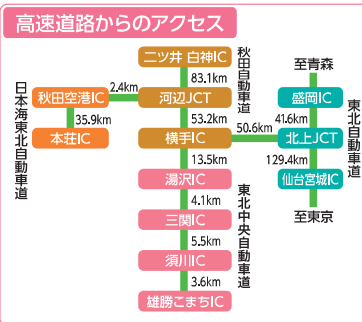
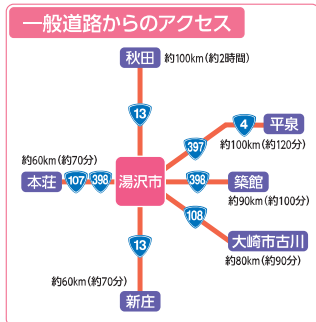


ゆざわジオパーク

湯沢市への交通アクセス



ゆざわジオパークキャラクター「しず小町」



お問い合わせ

湯沢市ジオパーク推進協議会事務局

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1
湯沢市産業振興部観光・ジオパーク推進課ジオパーク推進班

TEL 0183-55-8195 FAX 0183-79-5057

ホームページ <https://www.yuzawageopark.com/>

お問い合わせ E mail geopark@city.yuzawa.lg.jp

ガイドの申し込み・お問い合わせ ゆざわジオパークガイドの会 TEL: 0183-56-6226



推進協議会ホームページ
二次元コード



ゆざわジオパーク

ジオサイト マップ



苔沼と兜山

湯沢市ジオパーク推進協議会

ジオサイト内の特徴的ポイント

1 院内石採石場跡

マップ
A-2

院内石は、海拔180～280mの山腹を切り開いて採石されました。院内石は火山灰などが固まってできた灰白色～白色のぎょう灰岩で、風化作用や熱に強く、古くから石材として利用されてきました。



2 院内銀山異人館

マップ
A-2

JR奥羽本線院内駅駅舎と合築されている院内銀山の歴史を伝える郷土資料館です。銀山内にあったドイツ人技師が住んでいた住居を模しています。



3 岩屋堂

マップ
A-2

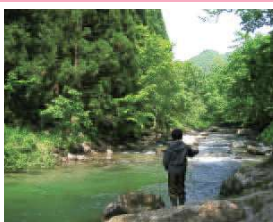
小野小町が晩年、世を避け、92歳で亡くなるまで住んでいたといわれる洞窟です。広さは約20畳で、洞窟の上部は硬い火山噴出物、下部はやわらかい砂質ぎょう灰岩です。やわらかい部分がけずられて洞窟になりました。



4 役内川の清流

マップ
B-3

役内川は、雄物川の支流です。川沿いには、湯沢市最古の岩石である花こう岩の露頭、全国的にも珍しい構造の旧川井橋(ドイツ橋)、樺山水力発電所など多くの見所があり、映画「釣りキチ三平」のロケ地としても知られています。



5 川原の湯っこ

マップ
B-3

川原の湯っこは、秋の宮温泉郷を流れる役内川の川原にあります。川底をスコップで掘ると、温泉が湧き出てきます。



6 川原毛地獄

マップ
B-2

川原毛地獄は南部の恐山、越中の立山と共に日本三大霊地の一つです。温泉や噴気のある場所の岩石は、その影響を受けて鉱物が変化し、色も白くなっています。白い山肌と奇岩に覆われた、特異な自然景観となっています。



7 湯沢市郷土学習資料展示施設(ジオスタ☆ゆざわ)

マップ
B-2

展示施設は高松地区センターの2階にあります。押切伸氏が40年以上にわたり湯沢市の代表的な地層である三途川層から採取した植物化石や珍しい昆虫化石のほか、鉱石、埋蔵文化財、酒造用具、地熱に関する資料が展示されています。



8 人面岩

マップ
C-3

人面岩は、皆瀬川トロッコ軌道跡の途中にあります。川床から数mの高さにある人の横顔に似た岩で、川岸のぎょう灰岩類が侵食されたことにより形成されました。



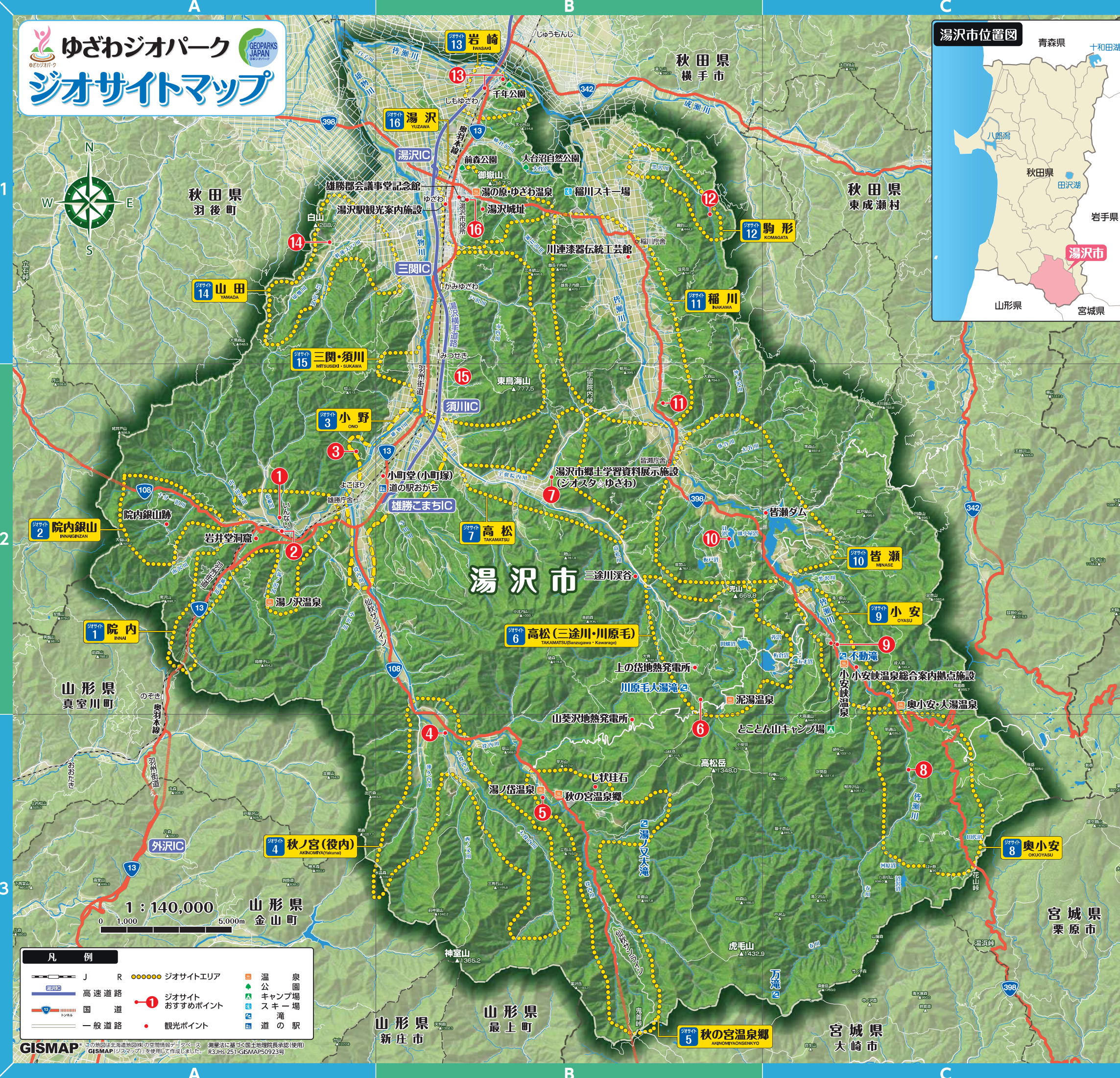
要ガイド

ゆざわジオパーク
ジオサイトマップ

1

2

3



ゆざわジオパークで、 見えない火山を感じよう！

1

2

3

ゆざわジオパークの特徴

ゆざわジオパークは約9700万年前の神室山花こう岩類を基盤としています。太古の火山噴火の痕跡や、長い年月をかけて大地を侵食した水の働きなど、湯沢市の大地の成り立ちを克明に刻み込んだジオサイトがたくさんあります。

ゆざわジオパークで火山を体感できないと思われるでしょうが、湯沢市の大地を創りあげた火山は、今も「見えない火山」として活動を続けています。

地中深く息づく火山活動は、豪雪がもたらす豊富な水と出会い、“湯沢”の名が示す通りの豊富な温泉や、小安峡大噴湯といった自然の驚異として地上に姿を現します。それはまさに、「見えない火山」を体感する瞬間です。

そして、その大地のうえで生活する人々の暮らしや文化、歴史に触れられることも大きな魅力です。「銀」などの鉱物資源や「湧水」といった大地の恵みは、日本酒や稲庭うどんなどの湯沢市の産業に結実し、さらに未来に向けて「地熱」という大きな可能性を与えています。

～銀で築き、清水と共に歩み、 地熱で未来を切り拓く～

ゆざわジオパークの特徴をより具体的にイメージできるように、キャッチコピーを「銀で築き、清水(しず)と共に歩み、地熱で未来を切り拓く」としました。

これは、ゆざわジオパークを創りあげた火山の恵みである「銀」「清水」「地熱」で、湯沢市の過去・現在・未来を表現したものです。

※しず…湯沢市の方で、「清水や湧水、泉」の意味

●「銀」は、いにしえ…

美しい銀の輝きが
湯沢市の礎を築く

江戸時代初期から昭和の初めまで、湯沢市には多くの鉱山があり、たくさんの人々が生活していました。こうした鉱山の暮らしや消費を支えるため、様々な産業が発達し、湯沢市の基礎が築かれました。



院内銀山選鉱所手選場

しず ●「清水」は、いま

きれいな清水と
美しい環境が人々を支える

湯沢市の豊富な清水が、農業はもちろん、地場産業の代表格である「稲庭うどん」や「日本酒」を生み出しています。



きれいな清水

●そして、未来へ…

ジオからの贈り物「地熱」、
クリーンなエネルギーの世界へ

湯沢市は、再生可能でクリーンなエネルギーである「地熱」の宝庫で、発電以外にも乾燥野菜の製造などに地熱を利用しています。

この豊富な地熱資源をさらに有効活用し、地域活性化を目指します。



地熱発電所蒸気生産基地